

【横浜国立大学「もっと横浜」プロジェクト講演会】

港の 人



講演者

nakamura kazue

中村 和恵氏

(比較文学者・詩人、明治大学教授)

講演者紹介：1966年生まれ。東京、札幌、モスクワ、メルボルン、大阪、ロンドンなどに移り住む。国境なき食欲でおいしいごはんを求め続ける『地上の飯』（平凡社）、もっと着たいもっと見たいと世界の衣服の秘密を探る『ドレス・アフター・ドレス』（平凡社）、世界の端っこを歩きながら本に出遭い日本語について考えた『日本語に生まれて』（岩波書店）ほか多数の著作がある。

外に向かって開かれた港は、みずみずしい可能性の場所だ！

港をうたう詩や詞に刺激されながら、異文化に接する先端としての港、植民地支配の拠点としての港、貿易と移民の場としての港などについて考え、「港の人」の自由と孤独から、開かれた街・横浜の可能性を語る。

2016年11月16日（水）14:40～16:10

会場：横浜国立大学 教育8号館101教室

一般の方も参加いただけます

主催：横浜国立大学教育人間科学部「もっと横浜」プロジェクト（担当：川添裕）